

吉岐新報

6月22日(金)

発行所 吉岐新報社
〒811-5136 長崎県吉岐市
郷ノ浦町片原触 247-7
TEL/FAX 0920-47-3196
ikishinpou@oboe.ocn.ne.jp
HP ikishinpou.com
発行 毎週金曜日
購読料 1ヶ月1,000円(税・送料込)
編集長 武田嘉人

重家酒造(名)



香洲
Senshu
High Quality of Sake
Produced & Bottled by Distillation
石田町印通寺浦200番地
TEL 0920-44-5002

特養ホーム 湯ノ本地区で建て替えへ

20日に2人目の副市長を提案

市議会・6月会議で白川市長



町田正一議員の質問に答える白川市長

本市議会定例会6月会議の一般質問が12日から3日間開かれ、白川博一市長は市立特別養護老人ホーム(勝本町本宮南触、1000床、シヨートステイ6床)の建て替え場所について、湯ノ本地区にしたい考えを示した。

初日の小金丸益明議員ら

の質問に回答。経営形態も指定管理者による公設民営に移行する方針。

1971年に建設された同ホームは約40年が経過し老朽化。市は現施設近くの埋め立て地に建て替える計画だったが、昨年3月の東日本大震災に伴い、津波の危険性を考慮し、建設

場所を一時凍結した上で再検討してきた。

白川市長は「大震災の時は情報が欠けていた。識者によれば津波は1.5m以下で、冷静に考えて総合的に以前の計画地も視野に入れた上で考えたい」と話した。

また、一般質問最終日の冒頭で、市が公用車の一部に検査証を張らずに使用していた問題で、「法令順守の模範的立場にある公務員の職場で、このようなことが起きたことは大変申し訳なく、弁解の余地はない」と謝罪した。

この日は町田正一議員が、6次産業化法の具体的な



あいさつする県災害対策吉岐地方本部長・久村豊彦県振興局長

市内の災害危険箇所307か所

県災害対策吉岐地方連絡会議

県災害対策吉岐地方連絡会議が15日、県吉岐振興局・会議室で開かれ、県の災害対策、防災気象情報、災害警戒・対策体制、昨年度・吉岐地方の災害状況、対策などについて協議した。

同会議には吉岐振興局、市消防本部、吉岐警察署、吉岐海上保安署、海上自衛隊吉岐警備所、長崎海洋気象台など関係各機関、団体から約30人が出席して開かれ、県防災ヘリコプターが新型の機種に更新され、5月から本格的に稼働している事、人命保護を第1にした防災体制の強化、危機管理(防災)担当者の心構えとして、▽大規模災害は必ず起きると思つて準備する▽普段やっていないことは、災害時には絶対にできない。より実践的な訓練を▽空振りも許されるが、見

逃しは許されないなどとする県の防災対策に関する説明などがあった。

昨年度の吉岐地方の発生状況は、発生件数(公共施設)は▽建設関係・勝本、芦辺の両町で各2か所、石田町1か所の合計5か所(いずれも道路)で、被害額は約644万円となつており▽同農村整備▽農地郷ノ浦町15か所、勝本町21か所、芦辺町11か所、石田町10か所、合計57か所、被害額約5,869万円▽農業用施設・郷ノ浦町4か所、勝本、芦辺の両町各1か所、合計9か所、被害額約1,805万円▽4町計66か所、約7,674万円▽林務・林地▽郷ノ浦町2か所、勝本、芦辺の両町各1か所、合計4箇所、約855万円▽全

3,235万円、勝本町25か所、約2,859万円、芦辺町15か所、約1,514万円、石田町14か所、約1,566万円▽4町計75か所(前年35か所)9,約9,174万円(同約7,565万円)。

また市内の災害危険箇所は、地すべり・土石流各54か所、急傾斜(自然、人工斜面)132か所、山崩壊67か所、合計307か所などとなっている。

「女性の力で世直しを」と福岡市などに、①文化②高齢福祉③国際協力④環境⑤教育の5分野から、提言活動などを行うNPO法人「はさらの会」(野三三四代表理事)の総会とシンポジウム、懇親会が「七夕」の日の7月7日午後5時から、福岡市、セントラルホテルフクオカで開かれる。

当日は同5時半からの総会に続き、「福岡の未来、九州の未来」をテーマに、大野代表理事、九州経済連合会会長・松尾新吾(株)九州電力相談役、福岡青年会議所・末松大和理事長、福岡県議会・伊豆美沙子県議らがパネリストとして登壇する運びのシンポジウムが同6時から1時間半あり、そのあと懇親会が9時まで予定されている。

市納税表彰式

7月2日、文化ホール 中ホール

市税、水道料金の実績に対し、納税組合、自治会を

表彰する本年度・市納税表彰式が来月2日午後7時から、中ホールで開かれる。

表彰式は来月2日午後7時から、中ホールで開かれる。

Invitation to Baroque Music

～チェンバロに鈴木優人氏を迎えて～

バロック音楽への誘い vol.2

2012年6月27日(水) 19:00開演(18:30開場)

会場: 末永文化センター

TEL 0920-21-3330

2012年6月27日(水) 19時開演(18時30分)開場

会場 末永文化センター(福岡市城南区七隈1-11-50)

TEL 0920-21-3330

料金: 大人3,000円(前夜2,500円) 学生1,500円(前夜1,000円)

お問い合わせ: 九龍チケットサービス TEL 092-623-0101

私達の健康は私達の手で

毎月19日は 食育の日

6月は 食育月間

吉岐サイクルフェスティバル大会終了の御礼

市民の皆様におかれましては、益々御清祥の事と拝察いたします。

この度、吉岐サイクルフェスティバル 2012 を開催しましたところ、天候にも恵まれ、又過去最多の631名の参加を頂き盛会裡に大会を終了することができました。

これも偏に大会を支えて頂いた吉岐市消防団をはじめ、関係機関、ボランティア各位の御協力、また市民の皆様におかれましては、沿道での応援、交通規制への御理解、御協力を心から感謝申し上げます。

今後とも、吉岐サイクルフェスティバルが吉岐の活性化に役立つイベントとして益々発展していくことを願い、市民各位の一層の御理解と御協力をお願いして大会終了の御礼と致します。

平成24年6月11日

吉岐サイクルフェスティバル 実行委員長 松本六男

少し前の出来事になるが、好物のゴマがたくさん入っているせんべいを食べていた際、石のように硬いものに硬さを感じた。よく調べてみると奥歯の一部が欠けていた。歯ごたえのある硬いせんべいは好物の一つで、小さな頃からその硬さを苦にすることもなく、バリバリと食べ、その頃は、梅干しの種の硬い殻を歯でかみ割り、中の白い種子の部分を食べたりしていた。ところが、もうずいぶん以前、やはり好物のサザエの刺身を食べた際、その歯ごたえに自分の歯がグラつき、自分の年齢を実感させられて以来のことで、歯ごたえのある好物を思い切つて食べられなくなつていったのを忘れ、油断したその時の出来事、本当にショックだった。今年も今月4日から10日まで1週間、「歯みがきはじょうぶなからだの第1歩」の標語の啓と実施され、本市でも歯科医師会による「吉岐いき歯の健康まつり」が8日に実施された。歯の衛生に関しては、最近はずいぶんから高齢者まで、だいたい注意するようになつてきているように思う。食べ物によって歯に不安を感じるようになってみると、その大切さが痛感される。まさに「歯は命」なのである。以前から「80歳になつても20本以上自分の歯を保とう」という8020運動の実践が呼びかけられている。自分も真剣に取り組みたい。